

わくわく倶楽部

江口グループ

第229号

令和8年8月発行

地域の皆さんと、土木を楽しむ一日に

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



いつも江口グループわくわく倶楽部ニュースレターを読んでいただきありがとうございます。9月12日、小松市役所の駐車場で開催される稚松校下の地域イベントに、江口組も参加することになりました。このイベントには、地元のお店や町内の皆さんが出店し、ステージでの催しも行われる予定です。子どもから大人まで、多くの地域の皆さんが集まり、楽しめる一日になることと思います。江口組からは、冬の除雪作業で活躍しているタイヤショベルを展示します。普段はなかなか近くで見ることのできない大きな車両です。当日は、運転席に乗ったり、一緒に写真を撮ったりして、その大きさや迫力を感じていただけます。子どもたちには、まず難しいことを考えずに、「大きい!」「かっこいい!」「乗ってみたい!」と楽しんでもらいたいと思っています。そこから少しでも、「この車は何をするんだろう」「土木の仕事って面白そうだな」と興味を持ってもらえたら、とても嬉しいです。

このタイヤショベルは、冬になると地域の道路で除雪作業を行います。雪が積もった朝も、皆さんが安心して通勤や通学ができるよう、道路を開ける大切な役割を担っています。私たちにとっては日頃から使っている仕事の車ですが、地域の皆さんにとっては、暮らしを守る「働く車」でもあります。土木の仕事というと、道路をつくる、川を整備する、橋を直すといった仕事を思い浮かべる方が多いと思います。もちろん、それも大切な仕事です。しかし、土木の仕事の本当の価値は、完成した道路や橋の、その先にあります。道路があるから学校や会社へ行くことができる。川が整備されているから大雨のときの不安を減らすことができる。除雪をする人がいるから、雪の日も地域の暮らしを止めずにすむ。土木は、地域の当たり前の日常を守り、未来の土台をつくる仕事です。そんな土木の大切さや魅力を、言葉だけで伝えるのはなかなか難しいものです。だからこそ、まずは見て、触れて、乗って、楽しんでもらう。その体験から、土木を少し身近に感じてもらいたいと思っています。

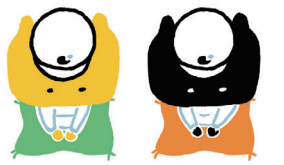
江口組は、この稚松校下に会社を構え、地域の皆さんに支えていただきながら歩んできました。私たちは、道路や河川などの工事を通して地域を支えているつもりでいます。しかし本当は、地域から仕事をいただき、声をかけていただき、見守っていただくことで、私たちの方が地域に支えられ、育ててもらっています。江口組が100年以上にわたって仕事を続けてこられたのも、地域の皆さんとのご縁と信頼があったからこそです。その感謝を、決して忘れてはいけなと思っています。地域イベントへの参加も、何か特別なことを「してあげる」のではありません。江口組も地域の一員として、皆さんと顔を合わせ、言葉を交わし、一緒に笑い、一緒に楽しい時間を過ごしたい。その中で、江口組の仕事や社員のことを少しでも知ってもらえたら嬉しいと思っています。

「江口組って、こんな会社なんだね」「土木って、意外と面白いね」「大きくなったら、こんな車に乗ってみたい」。そんな声の一つでも聞けたら、参加する社員にとっても大きな喜びになります。仕事をきちんと行うことはもちろん、地域の行事にも参加し、地域の皆さんとのつながりを大切にする。そして、「江口組がこの地域にあってよかった」と思っていただけの会社になる。それが、私たちの目指す姿です。9月12日は、ぜひ小松市役所の駐車場へ遊びに来てください。大きなタイヤショベルと江口組の社員が、皆さんをお待ちしています。子どもたちも、大人の皆さんも、一緒に土木を楽しみましょう!



江口グループ現場だより

土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆さんのご近所で見かけた時はよろしくお願いします(^^)／



広報担当者が全国から集結！ 『広報キャンプ2026』を開催しました

6 月17日・18日の2日間、「広報キャンプ2026」を開催しました。

広報キャンプとは、各企業で広報を担当する人たちが集まり、自社の魅力の伝え方やSNS運用、AI活用などを学びながら、同じ悩みを持つ仲間と交流する2日間の実践型研修です。今回のテーマは、「自社の魅力を再発見する」と「自社らしい広報の型をつくる」。

1 日目は、自社の強みや広報活動の悩みを共有するグループワークを実施しました。他社の参加者から

意見をもらうことで、「自分たちでは当たり前」思っていたことが、実は会社の大きな魅力であることに気づく場面が多くありました。

2日目は、SNS運用やAI活用をテーマに講義と実践ワークを行いました。「モ

ノではなく体験を伝える」という考え方は、多くの参加者にとって新しい発見になったようです。

私自身も、参加者の皆さんが積極的に意見を交わし、「すぐに会社で実践してみたい！」と笑顔で話している姿がとても印象に残りました。広報は一人で頑張るものではなく、仲間と学び合うことでさらに成長できる仕事なのだと改めて感じた2日間でした。

今 回の学びが、それぞれの会社の広報活動をより良くするきっかけになれば嬉しいです。そして、広報キャンプで生まれたつながりが、これからも続いていくことを願っています。



2日間学んだことをこれからの広報活動に活かしていきます！



広報担当者同士で交流を深めながら、笑顔あふれる研修となりました！

安全第一の決意を新たに ～江口グループ安全大会～

皆 さんこんにちは。広報部のきゅうだです。
江口グループでは、毎年7月1日から始まる全国安全週間に先立ち、安全への意識を高めるために安全大会を開催しています。今年も6月30日に社員と安全協議会会員の皆さんが参加し、「江口グループ安全大会」を開催しました。

大 会では、安全方針の発表や安全表彰に加え、小松労働基準監督署長の河野様による安全講話が行われました。実際の事故事例を交えた講話では、「慣れた作業こそ油断が事故につながる」という言葉が印象的で、会場全体が真



江口社長からは今年も全員で無事故・無災害を目指していくと挨拶がありました。

剣に耳を傾けていました。また、熱中症を防ぐための体調管理や休憩の大切さについても学び、安全は日頃の小さな心掛けの積み重ねで守られていることを実感しました。

今 年度のスローガンは「危険を見つけるその一歩、無事故につながる大きな一歩」です。この言葉を意識し、社員一人ひとりが安全意識を持ち、地域の皆さんに安心していただける仕事を届けられるよう、安全第一で取り組んでいきます。



安全の誓いを、さらに安全への意識が高まりました！！

地域を守るのは、現場だけじゃない。

先 月、社員の皆さんとクリーン・ビーチいしかわに参加しました。

クリーン・ビーチいしかわは、美しい海岸を次世代へ引き継ぐことを目的に、県内各地で自治体や企業、地域団体などが協力して行う海岸清掃活動です。海岸に漂着したプラスチックごみや空き缶などを回収することで、景観を守るだけでなく、海洋ごみの削減や生態系の保全にもつながる取り組みとして、多くの人々が参加しています。

当 日は社員が協力しながら海岸を歩き、一見きれいに見える砂浜にも、細かなプラスチック片やペットボトル、空き缶な



参加された社員の皆さんお疲れ様でした！



これからは江口組も地域づくりに貢献していきます！

クリエイション江口 環境部

▶▶▶「止めないための洗浄。 私たちが本当に守りたいもの」

皆さんこんにちは。クリエイション江口の村上です。私たちが現場へ行く目的は、「汚れを落とすこと」だけではありません。本当に守りたいのは、お客様の仕事がいいつも通り続くことです。工場では、設備が止まるということは、生産が止まるということ。一時間の停止が大きな損失につながる現場も少なくありません。だから私たちは、洗浄をするときも「どうすれば現場への負担を減らせるか」を一番に考えます。

ドライアイス洗浄は、水を使わず、設備を傷つけにくく、条件によっては分解や停止の負担を減らせることがあります。それは、ただ便利な技術だからではありません。お客様に安心して仕事を続けていただくための方法だと思っています。

私はこの仕事を続ける中で、一つ強く感じていることがあります。

「良い仕事ほど、終わったあとに何も起きない。」
設備がいいつも通り動く。
生産が予定通り進む。

働く皆さんが安心して仕事を続けられる。
派手ではありません。
誰にも気づかれないかもしれません。

でも、その「何も起きない毎日」を支えることが、私たちの一番大切な仕事だと思っています。「きれいになったね。」と言っただけのこともうれしいですが、「安心して使えるよ。」その一言が、私たちにとって何よりの励みです。

次回はいよいよ最終回です。私が21年間ドライアイス洗浄に携わり、この仕事を伝え続けたい理由をお話しします。



第4話



スタッフ通信

前号に続きスタッフ通信のお題は「子どもの頃、好きだった給食のメニュー」。
子どもの頃大好きだった給食。大人になってふと思い出す時はありませんか？
懐かしい味を社員の皆さんに思い出してもらいました！
読者の方もぜひアンケートで教えて下さい。♪

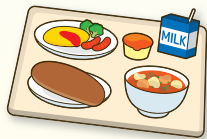
広報部
川崎 真綾



そばろっコリーゴはん



ゆかのじまん



鯨の竜田揚げ



昔は今ほど揚げ物がなかった
また食べてみたい

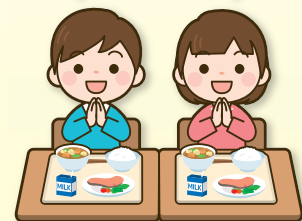
工事部
山根 勝敏



工事部
加戸 虹帆



いただきます



ご意見・ご感想など、
同封のアンケートハガキ
または、右記のQRコードより
ぜひお聞かせください!!



発行元

EGUCHI

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311代
eguchigumi@eguchi-group.co.jp